

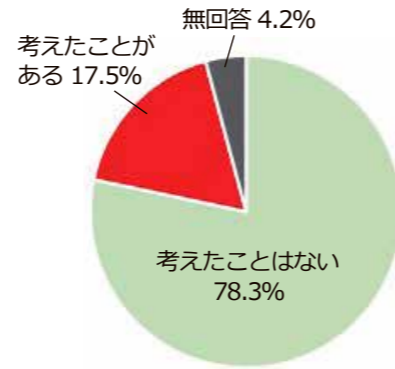
「**20・30代、3人に1人が自殺を考えたことがある**」

## 自殺に関する考えについて

「**これまでに自殺したいと考えたことがあるか**」については、「考えたことはない」が78.3%、「考えたことがある」が17.5%でした。

性別で比較すると、「考えたことがある」男性は13.4%、女性は20.7%と、女性の方が多く見られました。

年代で比較すると、「考えたことがある」では20代が33.3%と最も多く、次いで30代(32.4%)、50代(28.3%)と、20～50代で割合が高くなっています。



## 今後の自殺対策について

「**自殺を減少させるために重要と思われることは何か**」については、「**学校でのいのちの教育の充実**」が62.3%と最も多く、次いで「**職場でのメンタルヘルス対策の推進**」が38.5%、「**勤労に関する支援(就労支援、リストラ問題、過重労働など)**」が38.2%、「**精神科医などの専門医へ相談しやすい環境づくり**」が38.0%となりました。

- 学校での「いのちの教育」の充実 62.3%
- 職場でのメンタルヘルス対策の推進 38.5%
- 就労に関する支援(就労支援、リストラ問題、過重労働など) 38.2%
- 精神科医などの専門医へ相談しやすい環境づくり 38.0%
- 地域での「こころの健康相談」など、気軽に相談できる場所(電話相談など)の充実 35.6%
- 経済的な支援(金融政策など) 21.7%
- 24時間電話相談の充実 21.2%
- 地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い 20.4%

自殺の減少に重要なこと  
「**学校でのいのちの教育の充実**」が最多の**62・3%**

## 自殺対策についての考えや意見(自由記述) ※一部抜粋

- ◆数値などをもっと積極的に公表すべきと思う。普段の生活の中では、自殺者がそこまで多いとは感じる機会がなく、深刻さが伝わっていない。啓発活動を要す。(40代男性)
- ◆複雑化する社会、希薄化する家族、人間関係の現代社会で根本から考え直さなければならぬ切迫した問題です。地域社会でも同様にお互いに思いやりのある、協力できる人間関係が大切ではないかと思えます。(60代男性)
- ◆精神的に追い込まれる前に相談できる機会、場所を増やすことが重要だと思います。(60代男性)
- ◆世の中での不満が個人個人たくさんあり、それを解消する場所が少ないと日々感じています。他人

への言葉や暴力で傷つけ解消している人も少なく、悪循環を生んでいるのだと思います。皆が思いやりを大切に出来るような教育を、大人も受けるべきだと思います。(20代女性)

- ◆学校や職場では常に誰もが公平な判断をし、孤立させない。マニュアルに沿うのではなく、現状を見つめ、対応すべき。近隣の市町村との情報交換も必要。(50代女性)
- ◆希望がもてる社会を作っていけないと思えます。それには人と人との繋がりが大事だと思います。(60代女性)

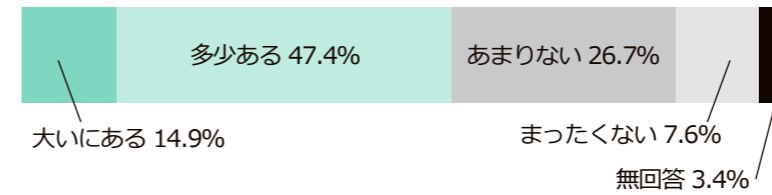
※広報掲載用に文字の修正をしています。

町では、自殺対策基本法の改正に基づき、平成30年度中に「(仮称)鳩山町自殺対策計画」の策定を予定しています。計画を策定する上で、町民の皆様の自殺に関する意識や考え、自殺リスク等の状況を把握し、町の特性に合った内容とするため、アンケート調査を行いました。

なお、調査結果の詳細は、町ホームページで公開予定です。  
◆問合せ 町保健センター ☎ 296-2530

## 悩みやストレスについて

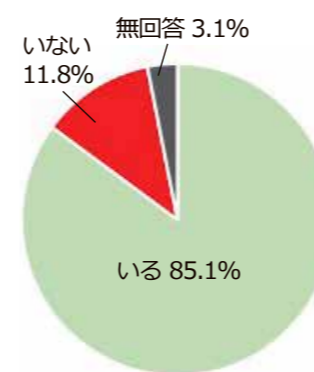
「**この1か月の間に、日常生活で不満、悩み、苦勞、ストレスなどがあつたか**」については、「多少ある」が47.4%で最も多く、次いで「あまりない」が26.7%、「大いにある」が14.9%でした。



性別で比較すると、「大いにある」と「多少ある」を合わせた回答は、男性が53.5%、女性が70.0%と、女性の方が多くなりました。

年齢別の「大いにある」「多少ある」を合わせた回答は、30代が91.2%と最も多く、次いで、50代が80.0%、40代が76.4%でした。最も少ないのは70代以上の41.6%でした。

「**不満や悩み、つらい気持ちを受け止めてくれる方、耳を傾けてくれる方がいるか**」には、「いる」が85.1%、「いない」が11.8%でした。



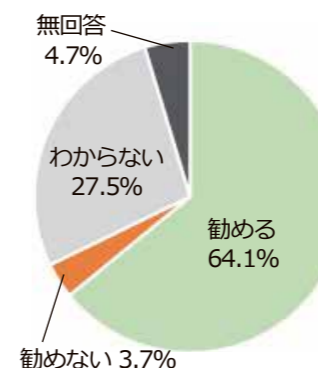
性別で比較すると、「いる」と回答した男性は80.2%、女性は90.1%と女性が多くなりました。

悩みの相談相手  
約1割が「いない」

## 相談することについて

「**家族など身近な人のうつ病のサインに気付いたとき、専門の窓口へ相談することを勧めるか**」では、「勧める」が64.1%、「勧めない」が3.7%、「わからない」が27.5%となりました。

性別で比較すると、「勧める」は男性が61.6%、女性が67.0%と、若干女性の方が多くなりました。



# 「鳩山町自殺対策計画」 策定のためのアンケート 調査結果の概要を報告します

### ○アンケートの概要

- 調査区域：鳩山町全域
- 調査対象：20歳以上の町民から、1,000人(男女500人ずつ)を世代別に無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収(返信用封筒による)
- 調査時期：平成30年2月
- 回収数：382通(回収率38.2%)

### ○アンケートの回答者について

- 性別：男性45.0% 女性53.2% 無回答1.8%
- 年代：若年層(20～30代)15.2%、中年層(40～50代)30.1%、高年層(60代以上)52.9%、無回答1.8%